

イーストスプリング・ インドネシア債券オープン (毎月決算型)

追加型投信／海外／債券

第53期(決算日 2016年9月20日)
 第54期(決算日 2016年10月18日)
 第55期(決算日 2016年11月18日)
 第56期(決算日 2016年12月19日)
 第57期(決算日 2017年1月18日)
 第58期(決算日 2017年2月20日)

作成対象期間(2016年8月19日～2017年2月20日)

第58期末(2017年2月20日)	
基準価額	5,546円
純資産総額	33,541百万円
第53期～第58期 (2016年8月19日～2017年2月20日)	
騰落率	8.3%
分配金合計	360円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒
 上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを
 表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を
 選択

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インドネシア債券オープン(毎月決算型)」は、2017年2月20日に決算を行いました。

当ファンドは、主としてインドネシアの債券に投資を行う投資信託証券に投資を行い、インカム・ゲインの確保および中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

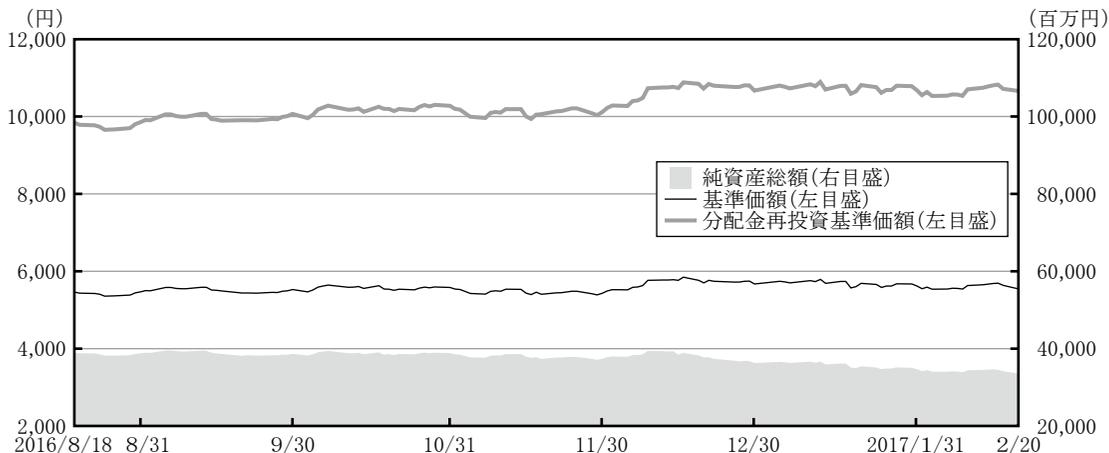
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

運用経過

基準価額等の推移について(第53期～第58期:2016年8月19日から2017年2月20日まで)



第53期首	5,462円
第58期末	5,546円(既払分配金360円)
騰落率	8.3%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は債券価格が下落(利回りは上昇)したものの、インドネシアルピアが対円で堅調となったため上昇しました。

インドネシア債券市場は、当作成期初から2016年10月末にかけて狭い値幅ながら堅調に推移し、為替市場でも小動きとなったため、基準価額も横ばいでの推移となりました。11月に行われた米国大統領選挙においてトランプ氏が勝利し、同氏が掲げる政策への期待から米ドルは全面高となつて大幅に円安が進行したため、ルピアは対円で堅調となり、基準価額は12月中旬にかけて上昇しました。しかしその後はルピアは対円で弱含み、当作成期末にかけて基準価額は下落方向に動きしました。

1万口当たりの費用明細

項目	第53期～第58期 2016/8/19 ～2017/2/20		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	35円	0.622%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、5,549円です。
(投信会社)	(12)	(0.219)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(22)	(0.391)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.013)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	0	0.004	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(0)	(0.002)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用(マイナス金利相当額)
合計	35	0.626	

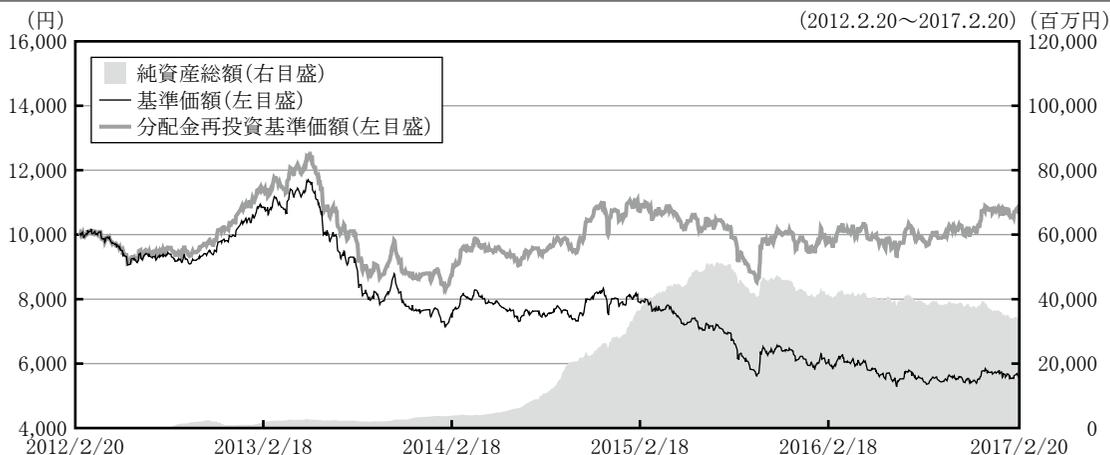
(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日	2012/2/29 設定日	2013/2/18	2014/2/18	2015/2/18	2016/2/18	2017/2/20
基準価額 (円)	10,000	10,858	7,432	7,883	6,007	5,546
期間分配金合計(税込み) (円)	—	500	970	1,200	1,200	880
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	14.3	△23.4	23.8	△8.7	7.7
純資産総額 (百万円)	100	1,785	3,775	36,591	41,088	33,541

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定元本を記載しております。

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

○海外債券市況

インドネシア債券は当作成期初から2016年10月末にかけて狭い値幅ながら底堅い推移となりました。インドネシア中央銀行(BI)は政策金利を9月と10月にそれぞれ0.25%引き下げ、また、7月から実施された租税恩赦法による海外からの資金還流期待なども好材料となり、債券市場は堅調に推移しました。しかし、11月に行われた米国大統領選挙でのトランプ氏の勝利を受け、新政権の経済政策による米国の景気拡大期待やインフレ観測の高まりから米国債が大幅下落(利回りは上昇)し、それを受けてインドネシア債券も下落しました。しかし、2017年1月以降は世界的に債券に買い戻しが入り、インドネシア債券も上昇(利回りは低下)しました。

○為替市況

インドネシアルピアは対米ドルで軟調となりましたが、対円では堅調となりました。当作成期初から2016年10月末にかけて租税恩赦法による海外からの資金還流期待を受けてルピアは堅調となりました。しかし、11月の米国大統領選挙以降は新政権による政策期待を背景とした米国金利上昇を材料に、米ドルが全面高となったことからルピアは対米ドルで下落しました。一方、対円については円が対米ドルで大幅に下落したことからルピアは上昇しました。2017年1月以降は円安に一服感が見られ、当作成期末にかけてはややルピア安となりました。

○国内債券市況

日本国債市場は下落(利回りは上昇)しました。日銀は2016年9月の金融政策決定会合で金融緩和強化のための新しい枠組みを発表したことを受けて、日本国債市場は買い戻しの動きとなり、10年国債利回りは9月末には一時-0.09%まで低下しました。しかし、11月に行われた米国大統領選挙の結果を受けて米国債が大幅下落(利回りは上昇)したことなどから日本国債も下落しました。利回り上昇を受けて日銀は11月17日、初の指値オペを実施し利回り上昇を抑えました。その後、2017年1月以降は世界的に債券に買い戻しが見られたことから、日本国債も狭いレンジでの推移となりました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

主要な投資対象のひとつであるイーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド(以下「インドネシア・ボンド・マスター・ファンド」という場合があります。)への投資比率を高位に保つよう運用しました。

○インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

主として、インドネシアの債券に投資を行い、インカムゲインの確保とトータル・リターンを最大化を目指して運用を行いました。当作成期は債券価格の下落がマイナス要因となりましたが、通貨ルピアが対円で上昇したことがプラス要因となりました。

○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。2016年11月末以降の国債価格の下落(利回りは上昇)により、当作成期首比で下落しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(1万口当たり、税引前)

項目	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期
	2016年8月19日 ～2016年9月20日	2016年9月21日 ～2016年10月18日	2016年10月19日 ～2016年11月18日	2016年11月19日 ～2016年12月19日	2016年12月20日 ～2017年1月18日	2017年1月19日 ～2017年2月20日
当期分配金 (円)	60	60	60	60	60	60
(対基準価額比率) (%)	1.091	1.072	1.098	1.030	1.066	1.070
当期の収益 (円)	33	37	32	37	32	42
当期の収益以外 (円)	26	22	27	22	27	17
翌期繰越分配対象額 (円)	775	752	725	704	677	661

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) -印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

○当ファンド

主要な投資対象のひとつであるインドネシア・ボンド・マスター・ファンドへの投資比率を高位に保つことを基本とします。

○インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

当面は、インドネシアの債券および為替市場は、米国の新政権による政策の不透明感から不安定な動きとなることが予想されます。しかし、インドネシア国債と米国債の利回り差が拡大しており、世界的な量的緩和政策の環境下でインドネシア債券の利回り水準は相対的に魅力的となっています。グローバル市場の動揺の落ち着きとともに、インドネシアの良好なファンダメンタルズがインドネシア債券市場のサポート要因になるとみています。市場の変動局面では機動的にデュレーションをコントロールし、市場を取り巻きリスクに注意を払い運用を行っていく方針です。

○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

日本国債は日銀の金融緩和を背景に今後も利回りは低位で推移するものとみています。

2016年12月半ば以降は日銀の国債買い入れの増額など利回り上昇へのけん制もみられますが、国内債券市場では2017年に入り市場の流動性が低下しており、海外金利の動向などで市場が一時的に不安定化する可能性もあり注意が必要です。今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるBofAメルリンチ国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

お知らせ

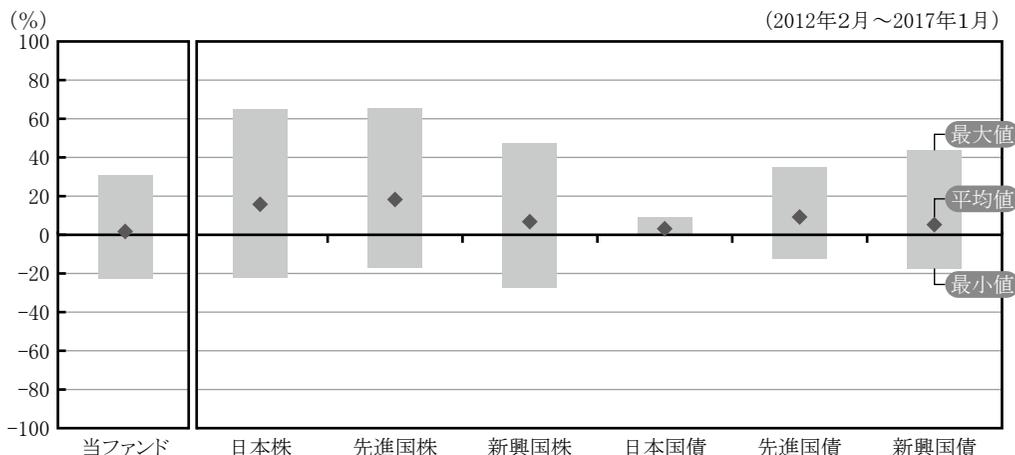
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	原則として無期限(2012年2月29日設定)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドネシアの債券に投資を行うことにより、インカム・ゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資信託「イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド」(円建て)の受益証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・外貨建資産への直接投資は行いません。・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(毎月18日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	1.7	15.8	18.2	6.8	3.1	9.2	5.3
最大値	30.6	65.0	65.6	47.3	9.3	34.9	43.7
最小値	-23.0	-22.0	-17.1	-27.5	0.5	-12.3	-17.4

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2012年2月から2017年1月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※当ファンドは2012年2月29日に設定されたため、ファンドの年間騰落率は2013年2月以降のデータをもとに表示しています。

<各資産クラスの指数>

日本株: 東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし、円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

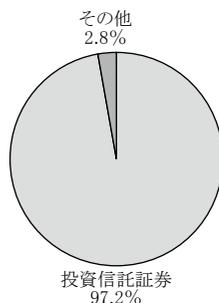
○組入ファンド

(組入銘柄数:2銘柄)

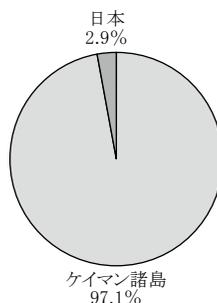
ファンド名	第58期末 2017年2月20日
イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド	97.1%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)	0.1%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

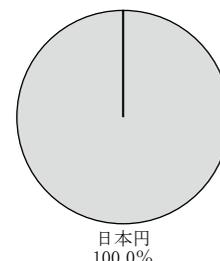
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第53期末 2016年9月20日	第54期末 2016年10月18日	第55期末 2016年11月18日	第56期末 2016年12月19日	第57期末 2017年1月18日	第58期末 2017年2月20日
純資産総額	38,134,806,977円	38,427,961,632円	37,330,625,476円	38,215,478,969円	35,069,828,429円	33,541,942,597円
受益権総口数	70,120,950,534口	69,381,071,843口	69,080,765,985口	66,274,905,888口	62,968,604,039口	60,474,618,174口
1万口当たり基準価額	5,438円	5,539円	5,404円	5,766円	5,569円	5,546円

* 当作成期中(第53期～第58期)において追加設定元本額は5,651,215,550円、一部解約元本額は16,277,664,120円です。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(2015年1月1日～2015年12月31日)



○1万口当たりの費用明細

(2015年1月1日～2015年12月31日)

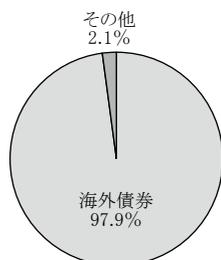
当該期間のFinancial Statements(監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

○組入上位10銘柄(組入銘柄数:44銘柄)

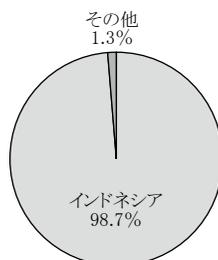
(2015年12月31日現在)

	銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
1	INDONESIA GOVERNMENT	国債	8.375%	2024/3/15	インドネシア	12.2%
2	INDONESIA GOVERNMENT	国債	9.000%	2029/3/15	インドネシア	9.0%
3	INDONESIA GOVERNMENT	国債	8.375%	2034/3/15	インドネシア	8.9%
4	INDONESIA GOVERNMENT	国債	7.875%	2019/4/15	インドネシア	5.8%
5	INDONESIA GOVERNMENT	国債	8.250%	2021/7/15	インドネシア	5.4%
6	INDONESIA GOVERNMENT	国債	8.250%	2032/6/15	インドネシア	4.1%
7	INDONESIA GOVERNMENT	国債	6.625%	2033/5/15	インドネシア	3.6%
8	INDONESIA GOVERNMENT	国債	8.375%	2026/9/15	インドネシア	3.5%
9	INDONESIA GOVERNMENT	国債	9.500%	2031/7/15	インドネシア	3.0%
10	INDONESIA GOVERNMENT	国債	11.000%	2025/9/15	インドネシア	2.9%

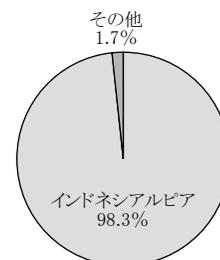
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



- (注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。
 (注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。
 (注3) インドネシアルピア以外の通貨建ての債券に投資を行う場合には、原則として、実質的にインドネシアルピア建てとなるよう為替取引を行いますので、通貨別配分は当該為替取引を考慮し算出しています。

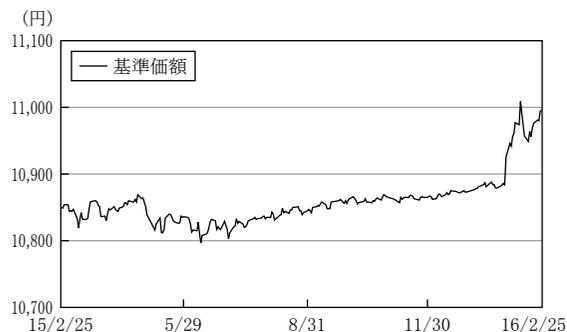
* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

(計算期間 2015年2月26日～2016年2月25日)

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

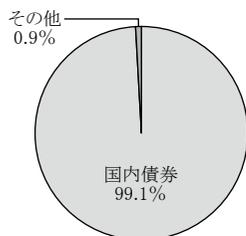
項目	金額
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	23円 (15) (2) (6)
(b) その他費用 (監査費用)	4 (4)
合計	27

○組入上位10銘柄

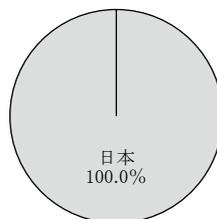
(組入銘柄数:26銘柄)

	銘柄名	種別	国・地域	比率
1	第285回利付国債(10年)	国債	日本	7.5%
2	第80回利付国債(20年)	国債	日本	6.4%
3	第75回利付国債(20年)	国債	日本	5.5%
4	第63回利付国債(20年)	国債	日本	5.2%
5	第48回利付国債(20年)	国債	日本	5.2%
6	第42回利付国債(20年)	国債	日本	5.0%
7	第67回利付国債(20年)	国債	日本	4.8%
8	第311回利付国債(10年)	国債	日本	4.8%
9	第298回利付国債(10年)	国債	日本	4.8%
10	第284回利付国債(10年)	国債	日本	4.6%

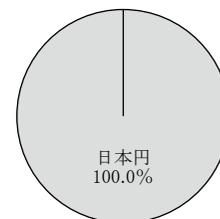
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細の項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2016年2月25日現在のものです。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

指数に関して

○当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」のベンチマークについて

- ・バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メリルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- ・東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・NOMURA-BPIは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。
- ・シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- ・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。